

# 滝高フロンティアサイエンス通信

海外研修特集号 [平成28年8月18日~25日] 第11号

## マレーシアレポート 5日目(8月22日)

5日目はホームステイのパートナーと共に各自オールセインツ高校へ登校し、授業を受けました。



一時間目は伝統的な衣装に身を包み、民族ダンスを踊りました。とても緊張しましたが、優しく教えてくれたおかげで楽しむことができました。



2時間目は生ごみの処理について学びました。説明の映像を見るだけでなく、実際に体験もさせていただき、より深く理解することが出来ました。



3時間目は家庭科の調理実習でした。写真の黄色い食べ物「**roti jala**」、緑の食べ物「**kuin pattaya**」というものです。「**kuin pattaya**」の中にはココナッツや砂糖などを混ぜたものが入っていて、甘みのある

とても美味しいものでした。

授業を終えた後はバスに乗り、「マリマリカルチュラルビレッジ」へと向かいました。「marimari」とは「おいでおいで」という意味で、ここではマレーシアの先住民族について、説明だけでなく食べたり、飲んだり、踊ったりしながら学ぶことが出来ます。

若くて細い竹は火に強く、料理の際に使われていたそうです。玉ねぎやジャガイモ、鶏肉を竹の中に入れて火にかける「**バンフーッキング**」で作られた料理はとても美味しかったです。

様々な民族の暮らしについて学んだ後、伝統的な「**バンフーダンス**」の鑑賞をしました。



このダンスは竹に足を挟まれないように踊るものです。素早い動きはスリル満点でした。ショーの最後に観客も体験できる時間があり、私も参加しましたが、ゆっくりでも怖かったです。



夜はホストファミリーと一緒にシーフードレストランへ行きました。このレストランは、沢山の魚介類が展示されており、直接自分の目でみてオーダーします。展示の規模の大きさにとても驚きました。数の多さと種類の豊富さで、見ているだけでも楽しかったです。辞書に頼りながらホストファミリーと会話した夕食はとても緊張しましたが、ホストファミリーのみなさんは優しく、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

